

(別添)

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向

— 目次 —

## 1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項
- (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

## 2. 次期計画の検討方向

大分森林管理署

# 1. 現行計画の概要(平成29年4月1日～令和4年3月31日)

・大分中部森林計画の対象は、県中央部に位置する祖母・傾山地区、くじゅう山地区、三宅・神角寺地区、大分地区、臼杵・大野地区、及び野稻岳地区から形成される国有林野15,520haです。

・計画区内の全森林面積の10%にあたり、天然林が58%、人工林が42%を占め人工林については、全体の81%が伐います。これらの森林は、大分市の水がめとして重要な役割を担っているほか、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## ① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (1, 488ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (3, 763ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・生育に適した森林
森林空間利用タイプ (1, 685ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (－ ha)	快適な環境の形成の機能の発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (8, 583ha)	水源の涵養の機能の発揮を重視	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

## ② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

林業技術向上のための現地研修会を実施しています。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進しています。



国有林内において、林業事業者、県の林業普及指導員等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、民有林への技術の普及に取り組んでいます。

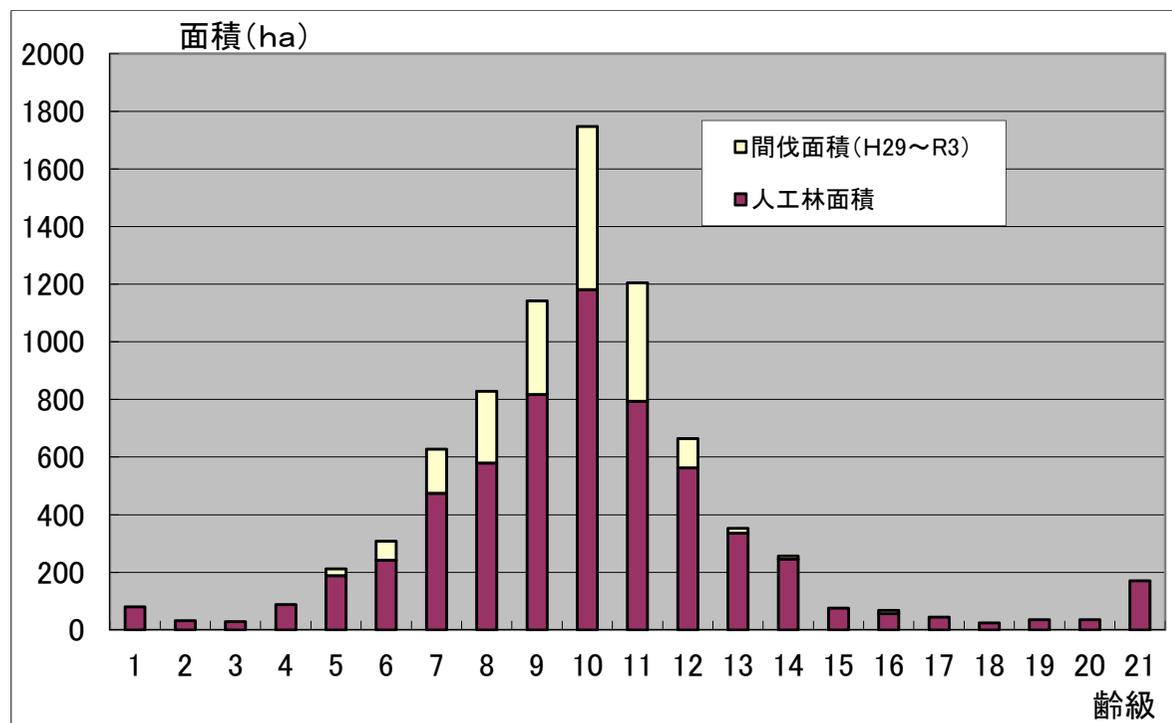


間伐の推進のため「間伐展示林」を設定し、区画毎の特色豊かな間伐方法等の設定状況を視察していただき、地域の森林整備に役立てていただいています。

### ③ 地球温暖化防止等に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約6,093haで、間伐の対象となる20年生から80年生の人工林の面積は約5,641ha（人工林面積の93%）です。

また、現行計画（H29年度～R3年度）では間伐を約1,934ha計画しており、標準伐期齢、森林の健全性を保つとともに森林吸収源対策としての間伐を推進しています。

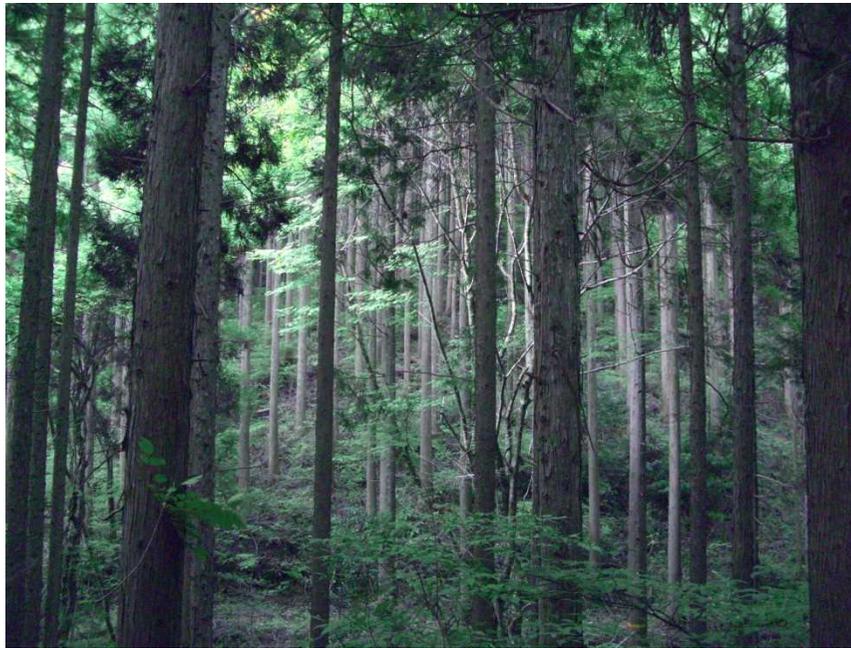


路網作設と間伐を実施した人工林

注：1年齢級は1～5年生を表します。

#### ④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



誘導伐



長伐期化された森林

## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な自然環境としての天然林等が多数存在しており、保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
森林生態系保護地域	祖母山・傾山・大崩山周辺	ブナ、アカガシ、ウラジロガシ等の原生的な天然林を保存し学術研究等に資する。	2,321
林木遺伝資源保存林	坊ガツル	サワグルミ、ミズメ、ハリギリの遺伝資源保存のため。	8
	黒岳	ミズメ、ブナ、アカガシ、ハリギリ、ヤマザクラ、イタヤカエデの遺伝資源保存のため。	11
希少個体保護林	大石榎山	常緑広葉樹林帯の上限付近に成立する大分県のミヤマシキミ・アカガシ群集の中では、最大の群集であり、特定植物群落に指定されている。また、豊後大野市の天然記念物にも指定されている。	18



## ② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



大分県由布市の由布岳地区をはじめとする流域内で発生した、山地災害箇所等について民有林治山事業と連携し、谷止ダム等による早期復旧工事を実施しています。



山地災害復旧跡地に治山事業の効果や役割についての PR看板を設置するとともに、地域住民への復旧工事についての説明会を実施しています。

### (3) 林産物の供給に関する事項

#### ① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図り、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



コンテナ苗の導入による低コスト造林を推進するため、一貫作業システム(誘導伐・密着造林)に取り組んでいます。

#### (4) 国有林野の活用に関する事項

##### ① レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	くじゅう山	阿蘇くじゅう国立公園内にあって、原始的な天然広葉樹林やミヤマキリシマ等高山植物が群落しており、四季に変化する山容、渓谷美にも優れるなど多くの観光客や登山者が訪れている。	1357
自然休養林	由布鶴見岳	別府市を母体とした観光レジャー開発がすすむ近隣にある当該地は、四季折々の変化に富む自然的景観の特色を備えており、利用の方針は登山、ハイキング、ピクニック、展望、自然探勝、動植物鑑賞等を主体とする日帰り型の森林レクリエーション利用を基本目標とする。	136

# レクリエーションの森の位置



## (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

### ① 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

森林環境整備に積極的な地元団体の方々と協力して造林地の保全整備を図っています。

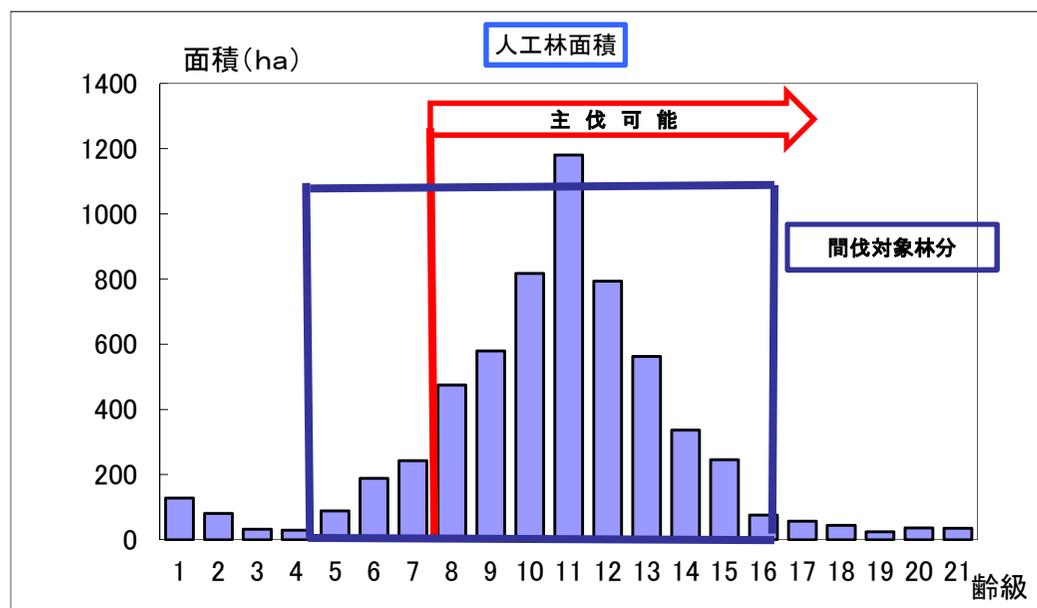


森林ふれあい活動として団体にフィールドを提供し、協働して、造林地の保育作業で、下刈り等の林業体験活動に取り組んでいます。

## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・ 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・ 次期計画においても間伐対象となる20年生から80年生の人工林は93%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。
- ・ 将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



- ・森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・本計画区には各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・本計画区には、特別天然記念物に指定されているニホンカモシカ等が生息することや原生的な天然林が分布していることから、この生息環境の保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや要請については、適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、木材生産のコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

## (2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策等の観点からも引き続き間伐の推進、特に、天然力を活用した育成複層林への誘導については、多様な森林づくり推進を重点に位置付け、「“見える化”プロジェクト」によって、技術的な検証を積み重ねるとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・原生的な天然林は、自然環境の保全に係わる機能を重点的に発揮させるべき森林として原則として自然の推移に委ねるとともに、生物多様性の保全に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・木材生産のコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。